

<事業所向け自己評価表>

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用者児童に対する建物の面積は確保できているが、コロナウイルス対策のための仕切りや個室等の確保が不十分である。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法で示されている加配の人数の配置は常にしており、外出行事等必要に応じて更に追加の職員の配置を行っている。
	③	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		単位Ⅱに関しては建物の構造上バリアフリーとなっていない。配慮が必要な利用児童に関しては職員を配置し安全を確保している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		随時職員間で適切な支援について検討を行っている。しかし、短時間職員やアルバイト生への情報共有が不十分な場合があり周知の方法を検討し実施する。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			昨年度の結果を受け、職員間で改善内容を検討し改善に向けた取り組みを行っている。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			昨年度の結果の公表を行っている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者委員による外部評価の実施は行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			常勤職員の研修計画を立てており、それに基づいた研修の機会を確保している。加えて事業所内研修にも取り組んでいる。しかしながら、今年度はコロナウイルスの影響により必要最低限の研修に留めている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			導入時にアセスメントを行い、アセスメントとニーズと発達検査等の結果を基に個別支援計画を作成している。その後は支援を行う中で、発達段階と課題を見立てて、アセスメント、評価を行い、支援計画の見直しを行っている。

## 適切な支援の提供

⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを作成し、活用している。また、個別に合わせた療育道具を用いて支援を行っている。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			年間行事案の作成と、毎月、翌月に行う行事の立案を常勤職員で行っている。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節の行事や地域の行事の情報収集、外部講師を招いての行事の提供など、固定化しないように工夫をしている。今年度はコロナウイルスの影響により外出行事が縮小され、室内行事中心に行っている。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援をしているか		○		個別支援計画時や職員会議時に協議し療育の設定を行っている。適切な支援、個別療育の充実を図るため日々職員の技術向上に努めていきたい。
⑭	子どもの状況に応じて、個別支援と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動を基本としながら、その中で生じる課題については個別に対応できるように支援計画に盛り込んでいる。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		毎日常勤職員でミーティングを行い、支援に対する振り返り、決定事項を共有している。しかし、担当の児童や役割分担等は十分であるとは言えない。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			当日の支援終了後、各階の職員で振り返りを行い、気づいた点を挙げている。それを踏まえ翌日のミーティング時常勤職員で支援方法を検討し、決定事項を短時間職員・アルバイトに周知している。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		個別支援計画に基づいた記録内容を記載するよう、支援内容を再確認し、5W1Hを心がけ記載をしている。今後さらなる職員の技術の向上が必要である。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い必要であれば、計画を変更している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			総則のア・自立支援と日常生活の充実のための支援、イ・創作活動・エ・余暇の提供は行っている。ウに地域活動の機会の提供に関しては、コロナウイルスの影響により行えていない。ボランティアの活用や見学は随時行っている。
関係機関や保護者との連	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			開催されるときは主に児童発達支援管理責任者が出席している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校と直接、送迎時間の確認や何かしらの対応が必要な場合等連絡調整することができている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			主治医や保護者とは連絡が取れるようにしている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		利用開始時に就学前利用していた施設から文書での情報を頂くことはある。必要であれば、就学前の利用していた事業所と情報共有を行い、より良い支援に努める。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			卒業後福祉サービスの利用に繋がる場合等は、会議に出席し、園で取り組んでいた支援の状況や残る課題等について、伝達を行っている。必要に応じて卒業後も事業所を訪問し、支援を行う。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		個別ケースでは医療機関の医師等から療育の助言を頂いている。地域の児童発達支援センターとの連携は行えておらず、今後必要に応じて連携を行っていききたい。

を携	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害がない子どもと活動する機会があるか		○		施設の目の前に地域の小学校があり、グラウンドで遊ばせていただく際に、学童の児童と一緒に遊ぶ等の交流はある。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	放課後等デイサービスの立場での参加の機会がないため行っていないが、アンケートによる意見は出している。市への要望等も伝えていきたい。
	②⑧	日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	○			直接送迎に来られる保護者の方とは本児の様子や課題等話をする機会がある。施設の送迎を利用している児童に関しては連絡帳でその日の様子を伝え、必要とあれば電話連絡にて対応しているが、十分であるとは言えない。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	行っていない、今後実施できるように職員のスキルアップに努めていきたい。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時説明を行っている。随時相談があればその都度説明を行っている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			②⑧同様保護者の方からご相談頂いた際、園での気になる場面がみられた際には対応している。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			年に1度保護者会を実施し、外部講師を招いて研修を行っている。その後の茶話会では進路、支援での困りごと、保護者同士の情報交換等が行われている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			第三者委員会を選任し、苦情解決のシステムを作り、ポスター掲示を行っている。苦情があった場合は苦情解決責任者を中心にその解決に向けた取り組みを行っている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月「お便り」を発行し行事や日常の活動の様子を掲載している。また定期的に法人の広報誌も発行している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人ファイルの収納棚は施錠し、情報が外部に漏れることのないように徹底している。

	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚障害のある保護者の方には書類等の配布物がある際には、情報が伝わるよう直接職員が口頭で伝達できるようにしている。今後も必要に応じて工夫をしていく。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	年1回法人全体で「木の香祭り」を行い地域住民との交流の機会を作っている。その他にも地域住民との交流の機会を検討していきたい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		ホームページで公表している。ネット環境が整っていない等のご家庭に対しては、紙で配布をするようにしている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回避難訓練を実施している。避難はしご、消火器の使用方法の研修も受けている。また、緊急時におけるメール配信又はホームページ等の周知の方法を検討している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止研修がある時には必ず常勤職員が研修に参加している。また法人内でも年に1度は虐待防止研修を行っており、必要に応じて短時間職員、アルバイトも含めた研修を実施している。また、適時身体拘束の3要件も確認しながら、適切な支援の実施と記録の仕方等全体で共有し実施している。しかし言葉の使い方や促し等不適切と感じる場面が見受けられるため、お互いに指摘し合いながら、質の向上に努めていきたい。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応の手引きを基本とし、一時的に保護を必要とする場合は、組織で決定し、個別支援計画に記載、保護者に説明、同意を頂いた上で、生命や身体、他児童の身体を守る上で必要最低限の状況で行っている。また実際保護を行った場合は必ず保護者に報告するとともに、適切に記録を行い、実地指導等の機会に県に報告を行っている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	○		導入のアセスメント時にアレルギーの有無を確認し、同法人内の調理部門との連携、情報共有を図っている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	事故が発生した場合は事故報告書の作成を行い、改善点を常勤職員で検討し短時間職員に周知している。これまでの事故報告書をふまえて、ヒヤリハット事例集を作成し職員間で事例検討、情報の共有を図っていく。